

万年カレンダーを作ってみよう（２）

「万年カレンダーを作ってみよう」で作成したカレンダーを、改良してみます。
祝日は、自動的に赤くなり、祝日の名称も入るように設定してみました。

使用する関数

Vlookup(検索値,一覧,列数,False)…一覧から検索値を探し出し、列数のところの値を出す。

Ierror(値)…値がエラーだったら○を、間違っていたら×を表す。

Or(①,②,…)…カッコ内のいずれかが○だったら、○を表す。

If(条件,○,×)…もし条件が正しければ○を、まちがっていれば×を表す。



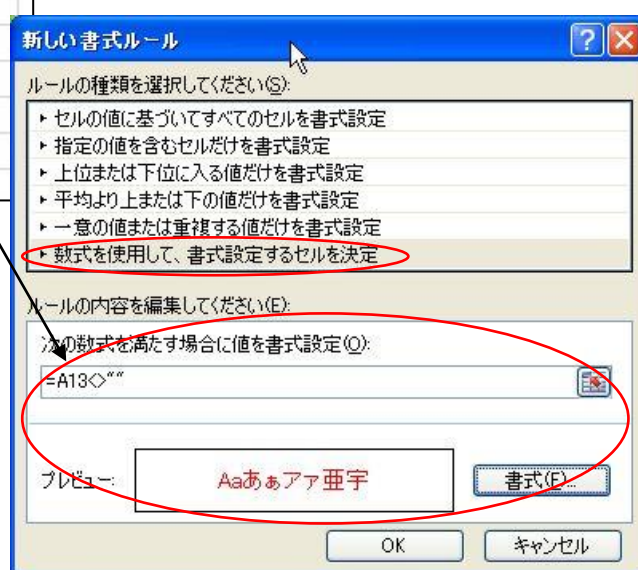
1. 「万年カレンダーを作ってみよう」で作成したファイルを開きます。
Sheet1 を「カレンダー」に、Sheet2 を「祝日」に、名称変更しましょう。

	平成21年5月						
10							
11	日	月	火	水	木	金	土
12						1	2
13							
14	3	4	5	6	7	8	9
15							
16	10	11	12	13	14	15	16
17							
18	17	18	19	20	21	22	23
19							
20	24	25	26	27	28	29	30
21							
22	31						
23							

2. カレンダー部分（元の10～17行目）の「行の高さ」を34にします。
そして、上図のように、日付の間に行を挿入し、「行の高さ」を13.5に、
フォントの色=赤・大きさ=11ポイント・中央揃えに設定します。

	A	B
1	日付	祝日
2	2009/1/1	元日
3	2009/1/12	成人の日
4	2009/2/11	建国記念の日
5	2009/3/20	春分の日
6	2009/4/29	昭和の日
7	2009/5/3	憲法記念日
8	2009/5/4	みどりの日
9	2009/5/5	こどもの日
10	2009/5/6	振替休日
11	2009/7/20	海の日
12	2009/9/21	敬老の日
13	2009/9/22	国民の休日
14	2009/9/23	秋分の日
15	2009/10/12	体育の日
16	2009/11/3	文化の日
17	2009/11/23	勤労感謝の日
18	2009/12/23	天皇誕生日
19		

3. 「祝日」シートに移動して、左図のように、祝日一覧を入力します。
(祝日の一覧は、インターネットで調べると、まとめて出ています。)



4. 「カレンダー」シートに戻って、日付部分に「条件付き書式」を設定します。
A12セルに、左図のように「=A13<>"" (A13が空白じゃなかったら) のとき、フォントを赤にする」とします。→この書式を他の日付セルにコピー。→フォントの色がすべて「赤」になってしまうので、月～金のフォントの色は「自動」に戻しておきます。



平成21年5月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
憲法記念日	みどりの日	こどもの日	振替休日			
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

5. 日付の下に、「祝日」シートを参照して、祝日の名前が入るようにすればできあがり。
どうするかというと……

A13セルに↓と入力します。

「=IF(OR(A12="",ISERROR(VLOOKUP(A12,祝日!\$A\$2:\$B\$50,2,FALSE))),"",VLOOKUP(A12,祝日!\$A\$2:\$B\$50,2,FALSE))」

(「もし、A12が空白か、祝日一覧に入っていなかったら、空白。そうでなければ、祝日一覧の祝日名を見つけて表示する。」という意味。)

この関数を、その他の、日付下セル(13・15・17・19・21・23行)にコピーします。